

3. 指導過程（基礎コース）

学習段階	学習活動と内容	時間	授業の流れ	指導上の留意点
復習	1. Greeting 2. 現在完了形の文について復習し、確認する。 ○ I have just finished my homework. ○ I have seen a lion before. ○ I have lost my watch. ○ I have lived here for two years.	7'	S 文型練習 C 補説	◎完了を表す現在完了の用法を重点に復習し、その時刻について、確認させる。他の用法については簡単にふれる。 ◎英文→日本語→英文（T→個人→一斉） ◎TPにより確認する。
導入 展 び 開	3. 過去完了形（完了の用法）の文について、説明を聞き、理解する。 ◎ When I <u>got</u> to the station, the train <u>had already started</u> . ◎ When I <u>got</u> to the classroom, class <u>had already begun</u> . 4. 過去完了形（完了の用法）について形成的評価をする。 5. 本時の重要語の発音を練習し、意味を理解する。 (Planting), problem, narrow, jam (med) especially, crowded, traffic) 6. 本時の重要連語の発音を練習し、意味を理解する。 (walk to ~, by bus and train, run through, be jammed up, be in time for) 7. 本文の内容把握をする。 8. 本文の音読をする。 (1) Tape Listening (2) Model — Chorus — Individual (3) Pair Reading	36'	新文型の導入 新文型の練習強化 形成的評価 重要語の発音と意味 重要連語の発音と意味 Translation C ヒント Tape Listening Reading C 箱読 整理 E	◎現在完了の文と対比しながら、新出の過去完了の時刻が「過去のある時を基準にして、それまでにおける動作の完了」を表すことに気づかせる。 ◎図示（TP）により、時刻を確実に理解させる。 ◎過去完了 (had + P. P) ◎完了を表す表現についてよく理解させ、練習強化させていく。 ◎本文中の過去完了の2文は暗誦させる。 ◎つまずき回復のための指導をする。 ◎教師のあとについて発音させる。 ◎意味は予習として調べさせておく。（個人指名を原則にする。） ◎教師のあとについて発音させる。 ◎意味は予習として調べさせておく。（個人指名を原則にする。） ◎個人指名で発表させるが、重要文、重要語法は説明を加えチェックしながら進める。 ◎意味を中心にチェックする。 ◎対話文としてのストレス、リズム、イントネーションに注意させる。 ◎Tape 又は教師のあとについて読ませる。 ◎Pair Reading のチェックをする。（Clearly, Loudly） ◎目標文の用法について再確認させ、一層定着化を図る。（TP利用） ◎形成的評価へ（次時）
整理と次時の予告	9. 本時目標文（完了を表す過去完了形）を再確認し整理する。 10. 次時の予告 (1) Part (1)の復習とPart (2)の予習について (2) Part (1)の小テスト（基本問題）実施について	7'	整理 E	◎目標文の用法について再確認させ、一層定着化を図る。（TP利用） ◎形成的評価へ（次時）